

■2017年 第9回協会主催BGTP(インストラクター養成講座)

日程：2017年2月11日(土)～2月15日(水) *BGTPは、宿泊講座となります。
 会場：湘南OVA(葉山) 〒240-0107 神奈川県横須賀市湘南国際村1丁目2-6
 受講条件：BGTP受講前にブレインジムとインデプスのケーススタディの提出と面談を事前に受けること。
 *面談後に何らかの理由でBGTPの受講を取りやめる場合は、ブレインジム及びインデプスの面談費用、1種類につき各37,800円《税込》をお支払いいただきます。この場合いただいた面談費用は次年度に繰り越すことができます。(他団体主催のBGTPには該当しません)。
 費用：318,600円《税込》(協会会員は5,000円割引で313,200円《税込》)
 *この講座は合宿形式で行われます。*全食、食事付き
 ※申込金1万円のお支払いをもって、お席の確保とさせていただきます。

■協会総会のお知らせ

日時：2017年6月7日(水)午後5時～7時迄 会場：協会事務所(半蔵門)

協会主催 ■海外講師による特別講座

■ブレインジム170

2017年11月11日(土)～14日(火)
 「特別支援を必要とする子ども達とブレインジムを結びつける」
 講師：セシリア・ケスター

■MBLTT

2017年11月15日(水)
 ビルディング・ブロック・アクティビティ指導者養成講座
 講師：セシリア・ケスター

【申し込み】事務局 jimukyoku@edu-k.jp

●<えでゆとく>は、知っているとちょっとお得な豆知識コーナーです



空間を把握する脳のメカニズム② 天田 武志 (神奈川)

ラットの海馬から、特定の場所にいるときだけ反応する性質を持つ場所細胞が発見された、と前号で紹介しました。場所細胞はラットだけではなくマウス、コウモリ、サルでも見つっています。また人間にも存在することを裏付ける各種の研究が発表されています。そのひとつにロンドン大学による、ロンドン市当局のタクシー運転手免許試験(ロンドンのタクシー運転手の免許試験は、市内にある数千以上の通り名をすべて覚える必要がある難関な試験として知られています)の受験者を対象にしたMRI(磁気共鳴画像)による海馬の神経細胞を測定した有名な研究があります。研究では免許試験の前と、試験が終わってから数年後の合計2回、MRIの測定を行い、神経細胞の量を比較しました。その結果、試験前は合格者、不合格者、一般人の間に大きな差はありませんでした。しかし試験から数年

後に行われた測定では、合格者の神経細胞の量が明らかに増加していたのに対して、不合格者と一般人には変化がありませんでした。合格者はロンドン市内でタクシーを運転して、細かい路地に習熟したため神経細胞が増加したと考察されています。そして、この増加した神経細胞が場所細胞ではないか、と考えられています。このような研究により、海馬の場所細胞によって空間の認知地図が脳内に作られるという説が提唱されていますが、海馬の個々の細胞がどのような情報をもとにして空間の中の特定の場所を見分けているのかについては、わかっていませんでした。しかし、2005年にノルウェー科学技術大学のモーザー博士夫妻によって、驚くべき機能を有する「グリッド細胞(grid cell)」と呼ばれる細胞が発見されました。これは空間認知メカニズムの突破口として重要な発見でした。そのため、2014年に場所細胞の発見者のオキーフ博士とモーザー博士夫妻にノーベル生理学・医学賞が授与されました。そのグリッド細胞についてはまた次号。

えでゆけ vol.16

Edu-k Journal

Winter 2017

BRAIN GYM JAPAN 季刊(年4回発行) 発行:NPO法人日本教育キネシオロジー協会 東京都千代田区平河町2-11-10 パークウエスト301 電話03-6272-6037 企画・制作:K1スタッフ

2017

数ある可能性の中からヴィジョンを見つけ
 行動を起こす

NPO法人日本教育キネシオロジー協会理事長
 たむら ゆうこ

2017年の協会の活動は、クリエイティブ・ヴィジョンの講座主催から始まりました。講師の来日は、まだお正月気分も残る1月5日でしたが、4日間にわたる講座では「創造的な構想」を練るにふさわしい充実した時を過ごしました。新しい年を迎え「今年はこんな年にしたい」と思い描く方も多くいらっしゃると思います。こうありたいという思いがあるとき、それを実現するため、具体的な行動を楽に起こすことができるよう、心と体を整えていくのが教育キネシオロジーでの「バランス調整」です。教育キネシオロジーの素晴らしさは、数ある可能性の中から、その人が向かう方向を示してくれることだ、とポール・デニソン博士は述べ

ています。「こうありたい」と具体的な状況を思い描くことは、あまたある可能性から特定の状況を切り出しているのです。インストラクターのなかには、ブレインジムのみならず、教育キネシオロジーの他のアプローチをお伝えするため、更なる資格を目指してトレーニングを積まれる方もいます。今回は、クリエイティブ・ヴィジョンに続いて、中級講座であるヴィジョンサークルのインストラクター養成講座も開催されました。子どもの発達を教育キネシオロジーの観点から捉え、体を育み、心を育み、ヴィジョンをもってシナジー(相乗効果)を作り出していく課程をみていきました。

この講座もまた、年の初めにこれからのことを思い描く良い機会となったのでは? と思います。日本でのインストラクターの活動は、今年で15年目に入ります。最近ではアジアの他の国のインストラクターとの交流も盛んになってきました。今年7月に韓国で世界大会が開催される予定です。教育キネシオロジーとブレインジムの素晴らしさを一人でも多くの方々に伝えることができるように、本年も普及活動を続けていきたいと思っております。インストラクターを派遣して、基本エクササイズを紹介することなども行っております。教育現場などでの体験を希望される場合はご相談ください。



シリーズ ブレインジムをする上で私が大切にしていること①

「安心感と触覚:101のPositive Attitude」

末松 晴美 (東京)

こんにちは。私は故野口晴哉氏の提唱した野口整体で自分が育ち、また、その健康観で子ども達を育ててきました。仕事の基盤は一貫して、音楽活動とシュタイナー教育です。2003年にケイ・マックキャロルさんが初来日されたとき、私はシュタイナー学校の音楽専科の教師でしたが、ブレインジムのこの音楽教育に活かしたら、という動機で体験会に参加しました。子ども達の身体に働きかける必要を感じていたからです。

これから4回のシリーズでシュタイナー教育の考え方である12感覚論から、触覚・生命感覚・運動感覚・平衡感覚とブレインジムの関わりをみていきたいと思います。これらはブレインジム中級講座のビジョンサークルに通じるものでもあります。ブレインジム101講座の最初のバランス調整は「Positive Attitude:前向きな態度」ですが、そのメニューは主に自分で自分に触れるエクササイズです。またインストラクター

準必須講座のタッチフォーヘルスは、その名のとおり「Touch:触れること」が中心でした。それらを学ぶ際、他人に触れるという行為には、とても繊細な気遣いが必要であることを私は感じました。どこに触れるか、と同時にどのように触れるか、さらに言えば誰が触れるかによっても全く印象が異なってきます。ほんとうに暖かくてふわっとしていて、触れただけでほっとする「手」の持ち主がいます。子どもとしては、少なくとも自分にとっては母親がそういう存在であることが望まれます。シュタイナーの感覚論では、触覚は自我感覚と深い関係にあると考えられています。ここでいう自我感覚とは、他者の自我を感じ取る感覚です。自分の皮膚という境界線が触覚体験によってしっかり身につけてはじめて、他者の存在にもしっかり向き合うことができる、ということなのです。作業療法の分野という原始系と識別系や、原始反射の統合という視点と共に、有益な図式ではないでしょうか。そして「誰が」触れるかによっては、例えばキリストのように奇跡が起こること

すらありますが、それは自我と自我が非常に深いところまでふれあい、共鳴を起した結果かもしれません。レベルはまったく異なりますが、野口整体の愉気もそれに似ています。私はここ何年か高校のメンターを務めてきましたが、そのカウンセリングルームでは、自分で自分に触れるブレインジムのエナジー・エクササイズや、セシリア講師の170講座のBBAs(ビルディングブロックアクティビティ)の応用、背中への触覚的な働きかけ等々が有効であると感じています。結果として、集団内での居心地が改善されるようでした。それは、丁寧に触れることによって自分の「自我」が拠りどころを得て安定し、そこから周囲を感じ取る余裕が生まれ、結果として世界を、他人の「自我」を、ポジティブにとらえることに繋がったように思います。



ブレインジム170講座参加記

～教育キネシオロジーでのインストラクターの役割～

都築 昌子 (大阪府)

11月にセシリア先生の170講座を再受講しました。170講座では、101講座の26の基本エクササイズと、オリジナルの8つのビルディング・ブロック・アクティビティ(以下、BBAsと表記)という「学ぶための発達を育てる」エクササイズを学びます。BBAsは、ブレインジムの自力でできない生徒に、支援者が主になって行う他動的なエクササイズです。支援者がクライアントを観察し意図をもって設定するので、講座では観察や分析の視点を学びます。そして、実際にクライアントに来てもらっての公開セッションを通して、実



際の応用方法を学びます。もちろん、セッション終了後にそのときの評価の視点、エクササイズ選択の意図、前後の変化などについて解説をしていただけます。

私は再受講だったのですが、日々セシリア先生が研究を重ねられているだけ、たくさん気づくことができた意義深い時間でした。そして、今回の一番の学びは、私たちが行っているのは「治療」ではなく「教育」であるということ。つまり、教育とは、「気づきを引き出すこと」。相手が大人でも、子どもでも同じです。支援者側がどのような意図をもってポイントを押すのか。そこで、支援者側が自分の価値観を押し付けていないか。それとも「気づき」を引き出そうという意図なのか。また、付き添いのご両親に対しても同様で、支援者側が自分の専門性や知識を自慢する意図なのか、反対にご家族自身の気づきを引き出す意図なのか。支援者側が「自分を自慢する」意図ならば、気づきを引き出せないだけでなくやる気まで奪う。これは「教育」ではないということ。このメッセージが本当に今回の私の大きな気づきであり、学びとなりました。



シリーズ

ブレインジムと私16

このシリーズは、インタビュー形式での連載となります。ブレインジムとの出会いや活動を皆さんに熱く語っていただこうと思います。

『子どもはジャンプが大好き』

永森 美香さん (高知県高知市)

Q) 永森さんのブレインジムとの出会いは?

「ブレインジム」のを知ったのは、ソレンセン式フェイシャルリフレクソロジーを学んだ時です。テキストの最後の2ページにブレインジムのエクササイズが載っていたのです。当時は何がどう良いのかもわかりませんでした。この2ページが私の人生を大きく変えることになりました。セラピストになり1ヵ月間無料で施術することを決め、1ヵ月近く経った頃、なぜか施術をすることがとてもしんどく嫌になり、もしかしたらこの仕事は私には向いてないのかも…と思うようになりました。そんな時にテキストの2ページがふと目に留まり、早速ブレインジム101を受講したのです。その講座の中で、仕事のつらさの原因に気づくことができ、バランス調整を体験することで「ブレインジム」の不思議さに感動しました。

Q) 現在はどんな活動をされているのでしょうか?

2016年4月より、2ヵ所の幼稚園に子育て支援として、月ごとにテーマを決めてクラスに入っています。まずは「PACE」をして、みんなで輪になって前後・左右・上下の動きをします。「ちっちゃく、おつきく」・「蟹さん歩きー右、左」・「しゃがむ、ジャンプ」をします。みんなこれが大好きで大人達がゼーゼー言うくらい何回もします。一番好きなのはやっぱり「ジャンプ!!」子どもの顔がイキイキしています。お母さん達とお話しの時間も、育児の悩みなどをシェアしながら、

ブレインジムの活用の仕方などをお話しています。ブレインジムの親子セッションや個人セッションと101講座の開催の他、定期的に男女共同参画センター事業でのブレインジム講座も開催しています。

Q) 将来の展望は?

ブレインジムは、簡単で速攻!! 私の中では、そんな定義があります。どんな問題も、ブレインジムを使えば、本人が気づくことでどんどんクリアになります。学習の問題や、発達の問題、親子の関係(過保護・過干渉)などに対応した個人セッションを続けていきます。「ブレインジムを日常に取り入れること」を多くの人に推奨していき、自分の目標を楽々達成する人達を増やして行きたいのです。

Q) ブレインジムへの思いについてひとこと。

最近では、ブレインジムに関わらない日はないくらい、私の日常の一部になっています。インストラクターになりたての頃は、とても難しく捉えていたように思います。

「普段から当たり前にとだやる。」私も、ブレインジムを伝えた人にもそうあって欲しいと願っています。



教育キネシオロジー 講座のご紹介④

【インデプス(In Depth)知性の7つの次元】

ブレインジム101講座修了者対象の講座になります。ブレインジム101で学んだ3つの次元を更に拡大して7つの次元を扱います。

現在では、教育キネシオロジーの上級講座にあたりませんが、創始者のポール・デニソン博士が、自身の経験と考え方を教え始めたのは、この講座を通してであったそうです。学びのメニューも体の構造や動き、個人の環境、感情、経絡やタッチフォーヘルスの手法など多様化され、能動的にも受動的にも働きかけます。目標に対して深いレベルでの調整となる7つの次元のバランス調整は、教育キネシオロジーの核となっています。

学びや成長の中で、過度に「がんばる」ことを手放し、ユニークで自然な成長の可能性を再発見してみませんか?

※インデプス受講前に他の教育キネシオロジー講座やタッチフォーヘルス等のキネシオロジー講座の受講をお勧めしています。

